

地方創生

ひとと、まちも輝く100年後の松山へ

人口減少社会を迎え、生産年齢人口の減少による経済規模の縮小と高齢化率の上昇による社会保障の負担増で、人口の安定化と若返りに向けた施策の展開が求められています。松山市でも2010(平成22)年以降人口減少が始まっていることから、人口減少問題を持ったなしの重要課題と認識し、人口の現状分析や人口推計、目指すべき人口の将来展望を示す「松山創生人口100年ビジョン」およびその実現に向けた最初の5年間の目標や施策などをまとめた「松山創生人口100年ビジョン先駆け戦略」を策定しました。

松山創生人口100年ビジョン (2060年を基本とし、2110年を視野)

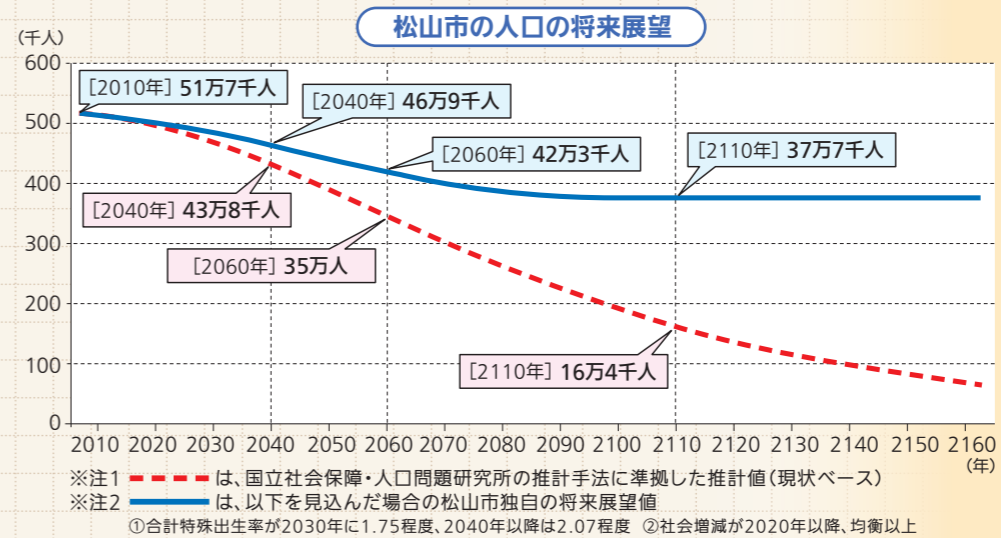
目指すべき将来の方向

I. 人口減少問題の克服

→合計特殊出生率を2030年に1.75程度、2040年以降は2.07程度に
→2020年以降は社会増減を均衡以上に

II. 人口減少社会への適応

→2060年度まで市内総生産1.6兆円程度を維持



松山創生人口100年ビジョン先駆け戦略 (2015~19年度)

基本姿勢

- ① 徹底した市民目線
- ② 連携・協調・切磋琢磨

基本方針

- ① 自立性
- ② 将来性
- ③ 地域性
- ④ 直接性
- ⑤ 結果重視

基本目標

- | | |
|------|---|
| 基盤戦略 | ① やりきる力「3つの礎」を構築する(基盤づくり)
推進組織による事業実施数…平成31年度に6事業 |
| | ② つながる未来を応援する(少子化対策)
合計特殊出生率…1.36(平成25年)→1.54(平成31年) |
| 積極戦略 | ③ 松山への定着と新しい人の流れをつくる(移住定住対策)
社会移動数…△3人(平成26年)→均衡以上(平成27~31年の平均) |
| | ④ 魅力ある仕事と職場をつくる(地域経済活性化)
市内事業所数…21,363(平成24年)→21,560(平成31年)
生産年齢人口の有業率…68.7% (平成24年)→70.2% (平成31年) |
| 補完戦略 | ⑤ 暮らしと経済を守る(暮らしと経済まちづくり)
市内総生産…1.6兆円(平成24年度)→1.6兆円(平成31年度)
連携中枢都市圏に係る連携協約数…平成31年度に5件
市の暮らしやすさ満足度…55.7% (平成26年度)→60.0% (平成31年度) |



「松山X-LIFE」ひとと、まちも輝く100年後の松山へ！
市民の皆さんに人口減少問題を考えるきっかけにしたい。だから、その内容を柔らかく表現したショートムービーを公開しています。

松山創生人口100年ビジョン先駆け戦略 まつやま創生未来プロジェクト

つながる未来を応援する

松山市の合計特殊出生率は1.39(平成29年)で、全国平均(1.43)や愛媛県平均(1.54)を下回っています。合計特殊出生率の向上を目指し、若い世代の経済的安定や出会いの場の創出による結婚支援、夫婦が理想の数の子どもを持つための経済的な支援などに取り組みます。また子どもを安心して産み、育てられるよう、子育て支援の充実やワーク・ライフ・バランスの実現に力を注ぎます。

- 出会いの聖地まつやまプロジェクト
- 子育てサポートプロジェクト
- 子育て安心しあわせのまちまつやまプロジェクト
- 仕事も生活も充実させようプロジェクト

松山への定着と新しい人の流れをつくる

松山市は県内市町からの転入者が多い状況が続いているものの、東京圏・関西圏などへの若者の県外転出超過が顕著で、今後、全体として転出超過となることが懸念されます。また市内には4つの大学や多くの専修学校があり、常に約2万人の学生が在籍していますが、入学時や卒業時の転入も多い状況となっています。こうしたことから、特に東京圏・関西圏からのイターン・Uターンの促進や学生を中心とした若者世代の流入・定着促進を進めるとともに、全ての世代や地域からの移住・定住につながるさまざまな施策に取り組みます。

- 松山に住もう帰ろう若者プロジェクト
- まつやまUターンおいでなもプロジェクト
- まつやまUターン住むもプロジェクト

魅力ある仕事と職場をつくる

人口減少対策の積極戦略である、合計特殊出生率向上を図る少子化対策や若者の定着、およびイターン・Uターン促進を図る移住定住対策を下支えするために、地域経済の活性化に積極的に取り組みます。中でも企業誘致の推進や、中小企業が直面する人手不足の克服に向けた取り組みなどを行います。また女性活躍推進に取り組む企業や再就職を目指す女性への支援、さらにはテレワークを活用した在宅就業を推進します。これらの施策を通じ、各分野の産業や人材育成などに力を注ぎます。

- 未来を創るまつやま産業創出・立地促進プロジェクト
- 女性の輝きまじんな応援プロジェクト
- 成長発展へ挑戦するまつやま中小企業応援プロジェクト
- 付加価値向上によるまつやま産業振興プロジェクト

暮らしと経済を守る

人口減少が進む中、持続可能な地域社会を構築するためには、地域特性を生かした産業の振興や民間投資の促進を図り、都市のコンパクト化と地域間連携を進め、市民が地域に愛着をもって安心して健康な生活を営めるように、市民の暮らしと経済を守るためのまちづくりを進めます。
また、松山市と近隣市町(伊予市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町)が松山圏域連携中枢都市圏を形成し「経済成長のけん引」「高次の都市機能の集積・強化」および「生活関連機能サービスの向上」に取り組みます。

- 市民と企業が担う新しいまちまつやま創造プロジェクト
- 元氣をつなぐ松山圏域活性化プロジェクト
- 市民とつくる日本一の防災都市まつやまプロジェクト



まつやま働き方改革推進会議による「まつやま働き方改革シンポジウム」



興居島体験滞在型交流施設「ハイムインゼルごごしま」

松山の暮らしやすさ発信中!

■ 松山市魅力発信映像「finding MATSUYAMA」



松山の自然や名所、暮らしやすさなどの多彩な魅力を知っていただくために、ドローンを活用して撮影した映像を制作しています。

■ 移住Webサイト開設

まちの魅力や生活基盤など、移住を検討する上で必要な情報をまとめたWebサイトを開設しています。



移住定住ウェブサイト「いい、暮らし。まつやま」